

1 専任教員の教育・研究業績

所属 英語観光学科	職名 教授	氏名 宮副 紀子	大学院における研究指導担当資格の有無 (無)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			
英米の絵本、児童書を用いて英語基礎力の育成	2001(平成13)年～現在		すぐれた絵本、児童書の英文は、比較的安易ではあるが、語彙や音韻においても、学習者が英語を体感をもって脳に習得させる力を有する。また文学作品鑑賞法の学習にも有効である。テキストの読解のみならず、CD等により朗読を聴くことにより効果的な英語習得をめざす。
多読図書を用いた多読による英語基礎力の育成	2003(平成15)年～現在		多読用図書による学習は、日本語を介することなく英語を理解することを可能にし、読解力のみならず、英語4技能の上達が可能とされている。多種多様な多読用図書が出版されており、できる限り英文(文学作品の場合は、文学作品として)が優れた図書を選び、学生に提供し、読解後はレポート作成や、グループディスカッションを行ない、読解作品の内容と英文の定着を図る。
映画、海外の新聞や放送局サイトのニュース等の映像の視聴による英語力の育成	2004(平成16)年～現在		テキストとして出版された図書は、たとえ普遍的なテーマを有する内容でも、指導する学生にとっては、時代錯誤であったり、そぐわない場合も多々ある。テキスト以外に、海外の新聞や雑誌の記事や、CNN Student Newsの動画などから日々の国際ニュース等をチェックして、普遍的であり、かつ学生に思考力を提供してくれるような内容を教材として、学習時期に即して採用している。また、リスニング力については、発声訓練を受けたネイティブの発話だけでは不十分で、一般人の発話を聴きとることにより聴解力が向上するので、内容の優れた洋画等も教材として取り入れることにより、聴解力と発話力の向上をめざす。
言語習得に関する医学研究の成果を実際の授業に反映させ、多読授業の中に組み込み英語力を育成	2015(平成27)年～現在		言語習得に関する医学研究の成果を実際の授業に反映させ、多読授業の中に組み込み英語力を育成 語学教育に関する医学論文よりヒントを得て、より効果的な学生の英語力向上法を目指している。
医学英語の指導方法を研究する。	2015(平成28)年～2019年		医学英語は、日常では用いられない用語や表現が用いられている。一見難しいと思われる用語も、語源から理解することで非常に解りやすく、覚えることも容易となる。さらには、図や映像も使用して、基本的な医学的内容(人体の構造、疾患、リハビリテーション)を学生が楽しく理解ができるよう工夫した。
2 作成した教科書、教材、参考書			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
「脳科学研究にヒントを得た英語授業方法の実践」	2021(令和3)年3月20日		神戸海星女子学院大学 言語文化研究所 第8回 研究発表会
4 その他教育活動上特記すべき事項			

II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数） 等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
ディアドリ・ル・フェイ著 『ジェイン・オースティン一家族の記録』	共	2019(令和元年) 7月	彩流社	監訳者 内田能嗣、惣谷美智子	218頁 ～ 240頁
論文					
「理学療法学科学学生における就職支援セミナーの効果について」	共	2017(平成29)年3月	宝塚医療大学紀要		70頁 ～ 75頁
英語教育と「コミュニケーション能力」	共	2020(令和2)年 2月	神戸海星女子学院大学研究紀要第58号		11頁 ～ 18頁
大学の1年間の英語授業に対する教師の振り返りに関するー考察ー半期のみの多読中心授業の英語力向上に対する効果とEPER読解テストの有効性を調査するー	単	2020(令和2)年3月 3月	関西英語英米文学会Kwansei Review第37号		1頁 ～ 14頁
大学1年生の半期における英文の読み方への1つの試みー2018年度の調査に続く、「多読」を利用した調査結果ー	単	2022(令和4)年2月	神戸海星女子学院大学研究紀要第60号		59頁 ～ 66頁
III 学会等および社会における主な活動					
日本ブロンテ協会		1998(平成10)年4月～現在			
日本ブロンテ協会関西支部		1998(平成10)年4月～現在			
日本イギリス児童文学会		1999(平成11)年4月～現在			
日本イギリス児童文学会関西支部		1999(平成11)年4月～現在			
日本多読学会		2018(平成30)年4月～現在			
関西英語英米文学会		2007(平成19)年4月～現在			